

# 中期経営計画(2018～2020年度)概要

## ～次の100年への布石～

2018年7月  
太平洋興発株式会社

# 目次

1. 前回中期経営計画(2015～2017年度)のレビュー	2～3p
2. 今回中期経営計画(2018～2020年度)の概要	
(1) 意義	4p
(2) 事業環境分析	5p
(3) グループの目指すもの	6p
(4) 経営数値目標	7p
(5) 株主利益還元政策	8p
(6) 事業別戦略	9～12p
(7) コーポレートガバナンスと人材戦略	13p
3. 最後に	14p

# 1. 前回中期経営計画のレビュー(1/2)

## 経営成績(連結)評価

(単位:億円)

	15年度実績	16年度実績	17年度実績	17年度計画
売上高	294.1	316.9	361.4	327.2
営業利益	7.6	9.4	9.9	9.8
経常利益	6.4	7.8	8.3	8.8

### <17年度経営成績(連結)評価>

- ・売上高、営業利益は計画超過。経常利益もほぼ計画達成。
- ・利益面計画超過の主因は、好調な輸入炭販売と、東京の有料老人ホーム事業の稼働率改善。

# 1. 前回中期経営計画のレビュー(2/2)

## 成長戦略評価

### 達成出来た戦略

- ・ 新規賃貸マンションの取得
- ・ 火力発電事業への参画
- ・ 不採算事業の立て直し
- ・ 財務体質の改善(債務問題)

### 達成出来なかった戦略

- ・ マンション管理事業の拡大
- ・ 海外での炭鉱機器販売展開
- ・ グループ効率経営

今後の課題

## 利益還元評価

目標

50%以上の配当性向(対当社当期純利益ベース)

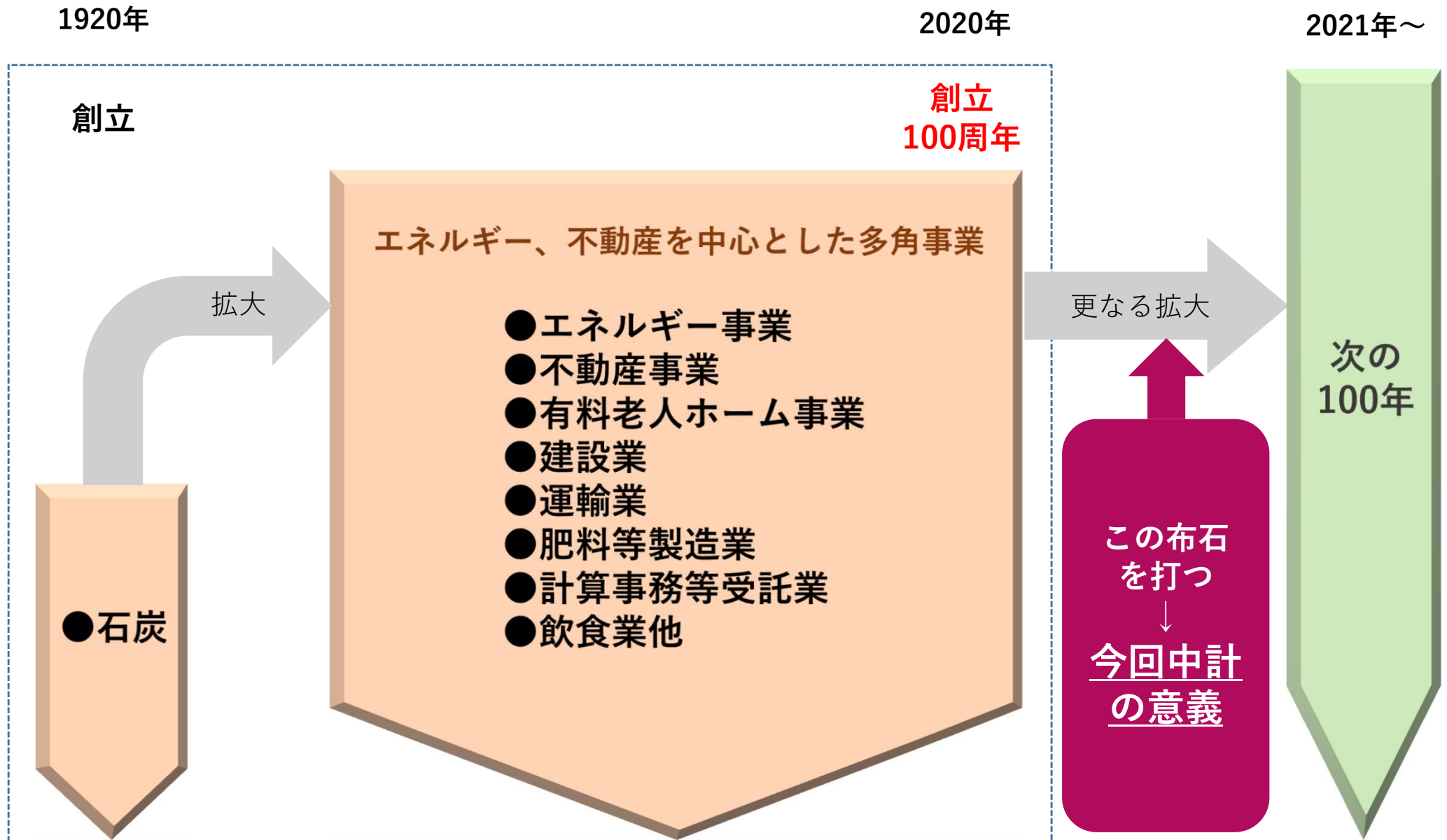
実績

達成

	15年度	16年度	17年度
一株当り配当金(円)	2.5	3.0	30.0
配当性向(%)	65.9	59.3	60.0

(注)17年度は10株を1株に株式併合後の配当金。

## 2.今回中期経営計画 (1)意義



## 2.今回中期経営計画 (2)事業環境分析

### 社会環境の変化

- ✓ 一層進む少子高齢化と現実となった日本の人口減少
- ✓ インバウンドの急激な増加による新たなビジネスチャンスの到来
- ✓ 所謂「働き方改革」の推進による労働環境の変化
- ✓ 求められる企業の持続的成長(コーポレートガバナンスコード)
- ✓ E(環境)S(社会)G(ガバナンス)に対する取組みへの評価の高まり
- ✓ 地方都市の都市部と比較した場合の経済的地位の低下



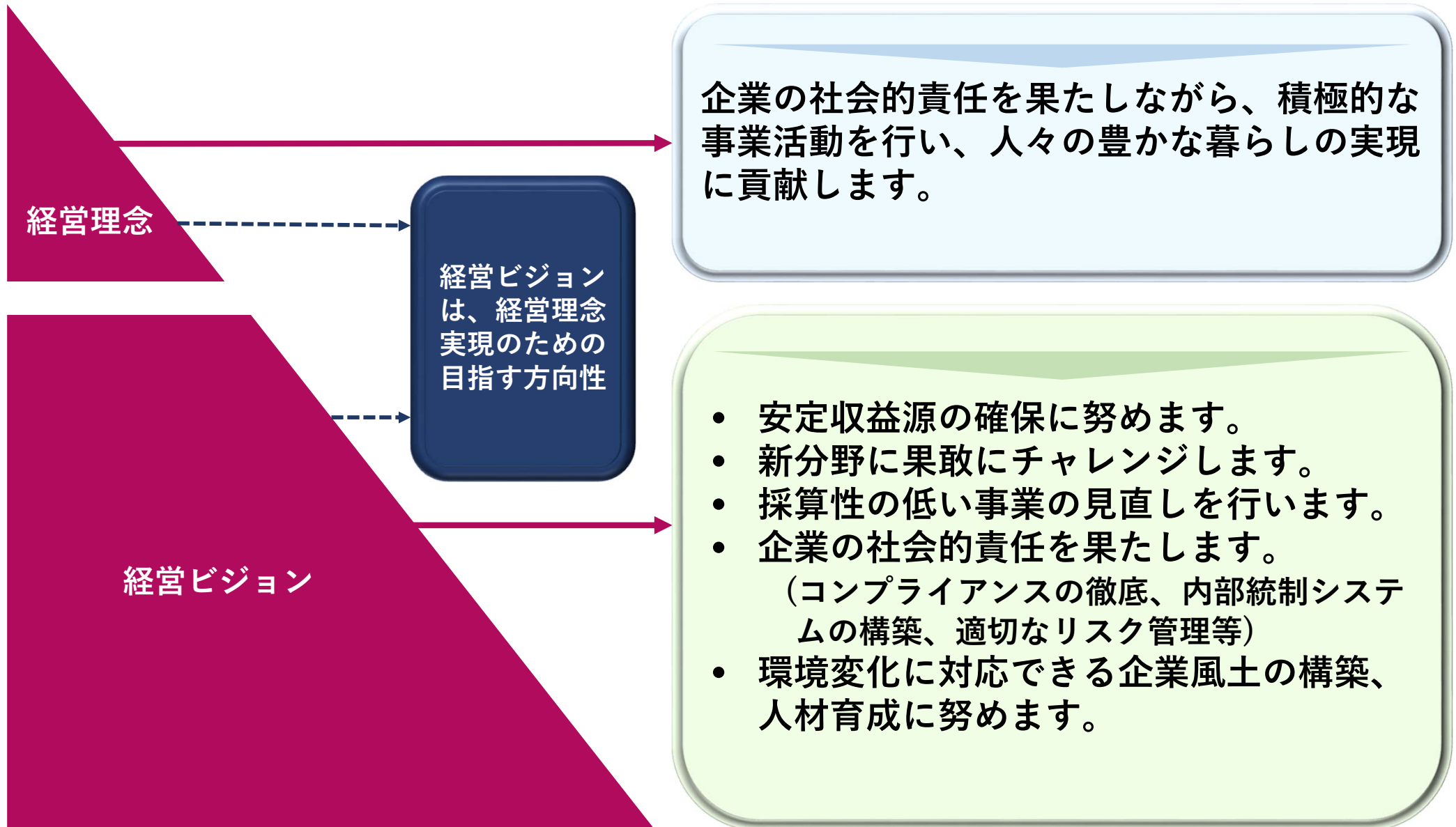
### グループ主要事業の環境変化

- ✓ 世界的に変動を繰り返すエネルギー市場とエネルギーの多様化
- ✓ 東京オリンピックに向け活発化する主要都市の不動産マーケット
- ✓ 有料老人ホーム業界において進む商品の多様化

**目まぐるしく変化する社会、主要事業の環境**

コーポレートガバナンスを機能させながら、得意分野で、地の利のある地域で、着実に利益を積み上げることが、太平洋グループの目指す方向感。

## 2. 今回中期経営計画 (3) グループの目指すもの



## 2. 今回中期経営計画 (4) 経営数値目標

### 経営数値目標(連結)

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度
売上高	34,400	33,700	35,100
営業利益	950	1,010	1,050
経常利益	740	820	860

### 【参考】 経営数値目標(当社)

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度
売上高	23,500	23,000	23,900
営業利益	450	510	540
経常利益	400	480	500



## 2.今回中期経営計画 (5)株主利益還元政策

### 株主利益還元政策の基本方針

- 新しい中期経営計画の達成に邁進し、継続的、安定的配当に努める。
- 具体的には当面、当社当期純利益に対する**配当性向50%以上**を目指す。

### 【参考】過去6年間の配当金と配当性向の推移

#### 前々回中期経営計画

#### 前回中期経営計画

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
一株当り配当金(円)	2.0	2.0	2.5	2.5	3.0	30.0
配当性向(%)	53.3	46.7	68.2	65.9	59.3	60.0

(注)17年度は10株を1株に株式併合後の配当金。

## 2.今回中期経営計画 (6)事業別戦略(1/4)

### 【全体的な戦略イメージ】

#### 新たな事業への着手

- これまで培ってきた石炭を中心としたエネルギー関連事業の経験を活かし、釧路火力発電所に関する事業に確実に参画する
- 新たに、札幌以外の地域における新規賃貸マンションの取得に着手する
- シナジー効果のあるM&Aを行い、グループの新たな安定的収益源を確保する

#### 既存事業の維持・深化

- 札幌での採算性の高い新規賃貸マンションの継続的取得を進める
- 業界の先駆者として、有料老人ホーム事業の持続的な成長を目指す
- 釧路における石炭荷役業、建設業、運輸業、計算事務等受託業の利益を着実に伸ばす

#### 既存事業の改善・見直し

- グループ企業の事業再編を検討する
- 肥料等製造業の利益改善に取り組む

事業  
領域  
拡大

経営  
基盤  
を固  
める

高利益  
体質の  
企業体  
へ

## 2.今回中期経営計画 (6)事業別戦略(2/4)

### 【個別戦略①エネルギー事業】

#### ■数値目標

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度
売上高	20,941	20,134	20,821
営業利益	258	258	255
経常利益	207	208	217

#### ■主な事業

- ・ 輸入炭販売
- ・ 船舶、トラック輸送
- ・ 石油販売

#### ■個別戦略

- 19年度稼働予定の釧路火力発電所に関する木質ペレット倉庫事業、流通業務等の事業を確実にスタートさせる。
- 釧路における鉄鋼スラグの代替品取り扱い業務を18年度から行う。
- 新たな事業として、石炭灰の有効利用に関する事業、選炭関連等の事業に取り組む。
  - 20年度までに、輸入炭の販売数量140万トンを目指す。
  - 釧路の港湾地域における倉庫業の拡大に取り組む。
  - 船舶の効率配船を行い、船舶輸送の採算性を向上させる。
  - 石油販売は現状の商圈を維持し、市場を見極めながら拡販を図る。



## 2.今回中期経営計画 (6)事業別戦略(3/4)

### 【個別戦略②不動産事業】

#### ■数値目標

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度
売上高	5,994	5,951	6,628
営業利益	364	377	397
経常利益	261	281	293

#### ■主な事業

- ・賃貸業
- ・マンション管理業
- ・建設業

#### ■個別戦略

- 札幌における新規賃貸マンションを新中計期間の各年度、最低2棟ずつ取得する。
- 札幌以外の地域で、18年度から1棟ずつ新規賃貸マンションを取得する。



- マンション管理業務は、札幌は拡大(M&Aも検討)、東京は現状維持を目標とする。
- 管理マンションの大規模修繕工事を確実に獲得し、利益を確保する。
- 保険は大手損保会社のサポートを受けながら、体制を拡大する。
- 仲介は、大きな取引ができるよう営業力強化に取り組む。

## 2.今回中期経営計画 (6)事業別戦略(4/4)

### 【個別戦略③有料老人ホーム等事業】

#### ■数値目標

(単位:百万円)

#### ■主な事業

	18年度	19年度	20年度
売上高	7,509	7,621	7,707
営業利益	331	375	394
経常利益	276	328	352

- ・ 有料老人ホーム事業
- ・ 肥料等製造業
- ・ 計算事務等受託業

#### ■個別戦略

- 積極的な営業活動と業務効率化により、東京の有料老人ホーム事業の利益拡大を図る。
- 高稼働率維持により、北海道の有料老人ホーム事業の黒字体質を確固たるものとする。



- 肥料等製造業の再構築を行い、黒字体質を確立する。
- 計算事務等受託業は地の利を生かした営業で利益拡大を目指す。
- 釧路の調理事業は事業の抜本的見直しを18年度中に実施する。
- 東京の飲食業は、黒字幅の拡大に努める。

## 2.今回中期経営計画 (7)コーポレートガバナンスと人材戦略

### コーポレートガバナンス

- グループ全体のコーポレートガバナンスを当社が指揮する。
- 重点的なガバナンスは次の通り。
  - ①コーポレートガバナンス・コードに適切に対応
  - ②内部統制システムの構築・運用、企業行動指針・基準の順守、リスク管理の適正運用等
- 上記ガバナンスを徹底するため、グループ全体への啓蒙活動を強化する。

### 人材戦略

- 高い収益性が見込まれる事業分野へ人材をシフトする。
- 専門性のある社員の採用、育成を通じ、競争力のある企業に育てる。
- グループ全体で次世代のリーダーを育て上げていく。
- 高い成果を出せる労働環境の整備を目指す。
- 世の中の動きに柔軟に対応できる企業風土の醸成に努める。

## 経営基盤の確立

## 3.最後に

- 今回の新しい中期経営計画は、太平洋グループの第二世紀に橋渡しをする重要な経営計画になります。
- 計画達成に向けて、役職員一同真面目に取り組んでまいりますので、グループ各社に対するご指導・ご鞭撻を引き続きよろしくお願いいたします。

以 上